科目名	書道 I		学年	類型・コース	単位数
			1年	全員履修・芸術選択	2単位
学習の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
教科書副教材	主たる教材：書 I（光村図書）				
評価	評価法	作品、発表、ノート、授業への取り組み（書道に対する関心・意欲、準備と片付けなど）で評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	古典の学習や臨書を通して、字形、綿質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆、運筆の技法を理解している。	
		b	思考・判断・表現	古典の書風を的確に捉え、その美を甘受している。鑑賞を通して、書風を理解し臨書に生かしている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	古典、創作、表現することに関心を持ち、その美を味わおうとしている。点画や用筆の特徴について主体的に確認している。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	書道で学習すること 漢字の変遷と様々な書体	・臨書、鑑賞、創作の学習を通して、自己の肖像的な表現に生かすことを理解する。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	5月	8	楷書「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」	・唐の四大家の代表作を鑑賞し、字形の特徴、書風を感じ取る。			
	6月	8	「顔氏家廟碑」	・用筆・字形を意識し、臨書する。			
	7月	4	隸書「曹全碑」	・隸書の成立・特徴を確認し、字形・綿質・用筆の特徴を理解する。			
夏休み							
2学期	9月	8	行書「蘭亭序」「風信帖」	・行書の成立過程を確認し、行書と楷書を比較し特徴を理解する。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	10月	8		・筆脈と抑揚を意識して臨書する。			
	11月	8	仮名：仮名の成立と種類、 仮名の筆使いと種類、	・仮名の基本的な用筆・運筆を理解し、繰り返し用筆・運筆を習得する。			
	12月	4	平仮名・変体仮名 「蓬萊切」	・「蓬萊切」を鑑賞する。			
冬休み							
3学期	1月	6	篆刻	・身の回りの篆刻に興味を持ち、姓名印を作り、作品に押印する。	作品	作品 発表 ノート	ノート 取り組み 発表
	2月	6	篆刻 創作：好きな字を書こう	・古典の学習を通し、習得した知識・技能を生かし作品を作り落款を入れ仕上げる。			
	3月	4	漢字仮名交じりの書	・作品を鑑賞し合い、交流する。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）

毎時間、授業で作品を作り提出をします。学習や鑑賞を通して学んだことや感じたことを生かし、意欲的に取り組めるようにしましょう。